

# 首都圏



TEL025-525-6666  
メール  
syutoken@j-times.jp

首都圏に関する  
情報・話題を  
お寄せ下さい

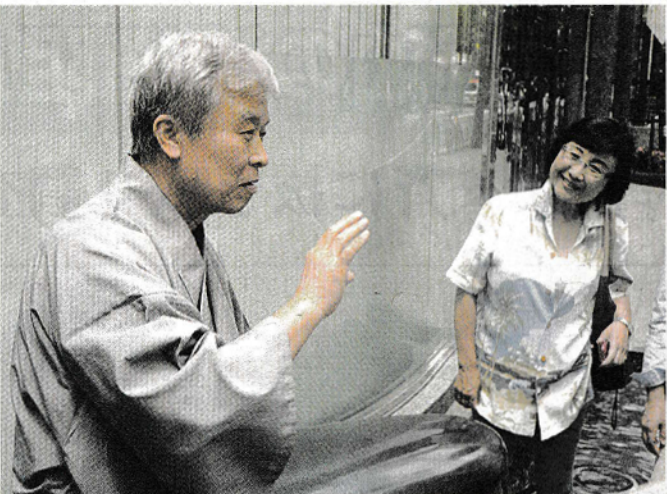
## 高田でも雁木歩きを

### 都内で歴史散策企画

警女文化発信する  
齋藤弘美さん

お江戸まちあるき2015年春夏の第4弾の催しが6日、東京都中央区日本橋人形町周辺で行われた。高田警女の文化を保存・発信する会顧問で、警女文化を東京からも発信し続けている「ゆう・えん」合同会社代表の齋藤弘美さんが企画。ライターやデザイナーとして活躍しながら、「お江戸ウォーカー」として都内30コースで東京の歴史散策ガイドをしている山口則彦さんが案内役をした。歴史愛好家ら13人が参加した。

一行は小伝馬町駅前にて人気の山口さんが、和服姿と軽妙な語り口でアにあふれたお江戸解説「ザ・下町」に誘った。



鯨と海と人形町のモニメント前で解説する山口則彦さん(左)と齋藤弘美さん

# 上越タイムス

発行所:(株)上越タイムス社/本社:〒943-8555上越市高土町2-4-6  
TEL.025-525-6666(代) FAX.025-525-6603 支局:妙高・頸北・糸魚川 ☎0120-17-4243  
http://www.j-times.jp(昭和55年12月18日第三種郵便物認可) メール times@joetsu.ne.jp

2015年(平成27年) 6月19日(金曜日) (8)

んでいたことや、着荷の小伝馬と出荷の大伝馬の違いを説明していた。

この日のコースは約3

時間。4月と5月の深い川、佃島、明石町、日本橋コースに続き、小伝馬町半屋敷跡から、富くじが興業され福徳、商売の神として信仰を集める榎森神社、元吉原、甘酒横

丁、水天宮、谷崎潤一郎生誕地、西郷隆盛屋敷跡などを巡った。

小伝馬町半屋敷跡は、江戸時代最大の半屋として262年間この地に存続し、安政の大獄の吉田

松陰や橋本左内らを含め、96人の勤王志士が処刑された史跡。跡地にある展示館では、監視人不足から、時代劇で見られる積み上げ畳の上にいる、秩序を保っていた半

名主や頭と呼ばれた人物がいたことを、山口さんが推測を交え楽しく解説していた。

齋藤さんは「高田にも雁木通り、城下町、町屋警女文化もあります。雁木ウォーカー、城下のまちあるきを提案してみたい」と話していた。



小伝馬町半屋敷跡の展示コーナーを見学する参加者